

きれいな新潟市であるために

岩室小学校 6年 本間 咲緒里

私たちの住む新潟市は、自然がたくさんある美しい市です。この新潟市を美しいまま、未来へつなぐには、道路にごみをすてないようにしたり、ごみの量を減らしたりすることが大切だと思います。そうすれば、このままの新潟市でいられると思います。

学校へ行く時など、あきかんや、ビニールのふくろが落ちているのをたまに見ます。それを見ると私は、(きたないな)と思い、あまりいい気分にはなりません。他の人もきっとそうだと思います。道路にごみを捨てずにきれいなままにしておくことは、毎日気持ち良くすごせることにつながるのです。

道路にごみをすてないようにするために、何かきまりをつくったりすればいいと思います。外国では、道にごみを捨てるだけで、ばっ金として何万円もとられる国があります。新潟市も、こういうようなきまりをつくることによって、ごみを捨てずに、家まで持ち帰ったりする人が増えると思います。その国は街がとてもきれいだそうです。未来の新潟市にもそうなってほしいので、何かきまりをつくるべきだと思います。

私は、小学校の遠足で弥彦山登山へ行きました。お昼を食べた後には、全校でごみ拾いをしました。まず、こういう小さな心がけからすることが大切だと思います。

また、食べられるものは残さず、 unnecessaryな物は買わないようにすることもごみを減らすことにつながります。私も、学校の給食は毎日残さず食べるようにしています。給食を残さず食べるなど自分で目標を決めて、ごみを減らすということに取り組むと、ただごみを拾ったりするだけよりも、効果があるのではないかと私は思います。

今、私たちが、ごみを減らすことに取り組めば、未来の新潟市に住む人たちが、美しい自然に囲まれて、毎日楽しく、快適に過ごすことができ、その人たちもこの自然をずっと守ろうと思うと思います。そして、緑豊かな新潟市を守っていくことができると思うのです。

一人一人が、ごみを減らすことを意識し取り組めば、大きな力になると思うので、未来の新潟市のために、ごみを道路にすてないようにし、ごみを減らして、美しい新潟市であってほしいです。